

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

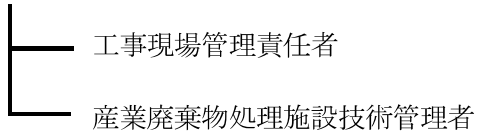
産業廃棄物処理計画書 令和 2年 6月24日 愛知県知事 殿 提出者 住 所 愛知県西尾市吉良町上横須賀宮前163番地 氏 名 鈴 博 建 設 株 式 会 社 代表取締役 鈴木 博貴 電話番号 0563-35-0077 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鈴博建設株式会社
事業場の所在地	西尾市吉良町上横須賀宮前163番地
計画期間	令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高： 金 38,349 万円
③従業員数	20 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事：がれき類→再生利用業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再生資源化 汚泥→再生処理業者に委託して固化し再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック、金属くず、木くず、ガラス陶磁器くず がれき類はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ IS014001 管理体制による分別 実施の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定していない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

	②計画	【目標】 別紙のとおり		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

別紙 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現 状	【前年度（平成 3 1 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	建設泥土
	排 出 量	1,221.6 t	3.2 t	1.4 t	30.3 t	4.3 t	4.4 t	6.5 t
	（これまでに実施した取り組み） ・包装材の簡素化を行う							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	建設泥土
	排 出 量	1,000 t	1.0 t	1.0 t	30.0 t	4.0 t	4.0 t	5.0 t
	（今後実施する予定の取組） ・工事内容により廃棄物の種別が変わるので、産廃排出量の目標が難しく、31 年度に近い目標をたてる							

別紙 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状	【前年度（平成31年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	建設泥土
	全 処 理 委 託 量	1,221.6 t	3.2 t	1.4 t	30.3 t	4.3 t	4.4 t	6.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量							
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,221.6 t	3.2 t	1.4 t	30.3 t	4.3 t	4.4 t	6.5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量							
（これまでに実施した取組） ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。								

②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合物	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	建設泥土
	全処理委託量	1,000 t	1.0 t	1.0 t	30.0 t	4.0 t	4.0 t	5.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量							
	再生利用業者への 処理委託量	1,000 t	1.0 t	1.0 t	30.0 t	4.0 t	4.0 t	5.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							
	(今後実施する予定の取組) ・特になし							